

開催支援・サポートについて

財政支援

(1) 国際コンベンション開催助成金制度 ※ 審査会にて可否及び金額が決定されます。

■ 対象

福岡市で開催される国際コンベンションで、一日当たりの外国人(在日外国人を除く)参加者数が、50名以上。参加国が日本を含む3ヶ国以上で、会期が2日以上であるもの。
開催地が未決定のコンベンションで、助成を行うことで福岡市開催が促進されるもの。

■ 助成額

総経費の30%以内で、30万円から1,000万円の規準額。

(2) 国内コンベンション助成金制度 ※ 審査会にて可否及び金額が決定されます。

■ 対象

福岡市で開催される国内コンベンションで、九州規模以上の開催。一日当たり1,000名以上の参加で、会期が2日以上であるもの。
開催地が未決定のコンベンションで、学術・技術・文化・芸術・スポーツ・産業または経済の振興に広く寄与するもの。
(展示会、見本市・民間企業1社が開催する社内会議や製品説明会等を除く)

■ 助成額

総経費の30%以内で、30万円から300万円の規準額。

インセンティブツアー支援メニュー

福岡市内に1泊以上滞在するインセンティブツアーを対象に、さまざまな支援メニューをご提供しています。

1 ガイドブックのご提供 10名様以上

インセンティブツアー参加者に対する割引・優待のクーポンを掲載した「福岡観光ガイドブック」をグループの皆さまへご提供します。(英語、韓国語、中国語(簡)、中国語(繁)、日本語に対応)



※写真は2015年現在発行のもの

2 挨拶状と絵葉書セットのご提供 10名様以上

ウェルカムレターと福岡観光絵葉書のセットを、グループの皆さまへプレゼントします。



3 空港・港での歓迎式典開催 100名様以上

歓迎の横断幕を用意して、法被姿で、皆さまをお出迎えします。また、歓迎挨拶を行うとともに、インセンティブツアー代表者へ福岡ゆかりの記念品を贈呈します。



4 郷土芸能の提供 200名様以上

ホテルでの歓迎式典や表彰式の際、独楽(こま)回し、太鼓、民謡などの郷土芸能のいずれかひとつを1回無料提供いたします。

〈伝統芸能の一例〉



公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー MPFのワンストップサービスのご案内

コンベンション/会議・セミナー/展示商談会/インセンティブツアーなど、イベントの目的に応じて、サポート企業のご紹介を含めてきめ細やかな支援を行っています。

Step-1

開催地選択段階

1 広報PR資料の提供と貸出し

候補地決定時に必要な広報・PR資料等をご提供。

2 視察受け入れ

会議・宿泊施設等の視察受け入れサポート。

3 見積書・提案書のとりまとめ

ご要望に応じて、必要な見積書・提案書の取りまとめを行います。

4 コンベンション開催助成金制度*

開催都市検討中のコンベンションに対して、国内外延べ参加者数などに応じた助成金制度を設けております。

*詳細は各担当者におたずねください。

5 福岡市MICEアンバサダー事業の活用

- 国際・国内会議や大会、展示会の誘致に係る活動
 - PR活動協力/情報提供
 - 主催者キーマン・コンタクトパーソン紹介
- *詳細は中面をご覧ください。

Step-2

開催決定後の準備段階

1 各種パンフレットのご提供など

- a.福岡観光ガイドブック (言語:日/英/韓/中(繁)/中(簡))
- b.福岡グルメ・おみやげガイドブック(日本語のみ)
- c.中洲飲食マップ(日本語のみ)

2 ユニークベニューのご紹介

飲食施設はもちろん、商店街等のストリートパーティーまで、福岡ならではの素敵なレセプション会場をご紹介します。

3 観光案内および語学ボランティアのご紹介

主催者様からのご依頼に応じ、観光案内ボランティアや語学ボランティア(英・中・韓等)をご紹介します。

4 広報活動協力

広報に必要な資料やDVDの提供、ならびに、関係機関への告知・HPへの掲載等を行います。

5 外国人参加者への支援

日本文化体験プログラムを希望する主催者に対し、茶道・華道体験等の受入れ団体をご紹介します。

6 後援と歓迎メッセージ

一定条件のもと、福岡市及び当財団が後援するとともに、ウェルカムメッセージなどをご用意します。

7 多方面へのサービス提供

PCO会社・旅行会社・ホテル・レストラン・送迎バス・弁当等のご紹介、ならびにコングレスバッグお土産のご案内等

8 観光プログラムご提案

サイトビジット支援(地場企業・研究施設・工場等の産業観光)や同伴者ツアー・博多まち歩き等の観光プログラムのご紹介

Step-3

コンベンション開催時

1 歓迎看板または郷土芸能のご提供

一定の条件のもと(参加国数・人数規模等)で、福岡市で開催される大規模コンベンションに対し、歓迎看板の提供・設置、もしくは、郷土芸能(1種)を無料提供します。

[案内看板設置例]

- 福岡空港における歓迎案内所の設置
- 福岡空港の歓迎バナー
- 博多駅新幹線口歓迎バナー

[郷土芸能提供例]

博多独楽(こま)、金獅子太鼓、博多民謡など

2 郷土芸能のご紹介

開会式、レセプション等でご利用される郷土芸能を、ビューロー特別価格にてご紹介します。

3 博多どんたく法被の貸出し

博多の代表的なお祭りの一つである「博多どんたく」で使用する法被を前年度大会のPRや開催当日の受付などに貸出します。

※インセンティブツアー支援メニューについては裏面をご確認ください。



Meeting Place Fukuoka

公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー
Meeting Place Fukuoka

〒810-0001 福岡市中央区天神1-11-17 4F

TEL 092-733-0101 FAX 092-733-3100

e-mail mpf@welcome-fukuoka.or.jp

http://www.welcome-fukuoka.or.jp/

MICE Support Menu

福岡市MICE アンバサダーのご紹介

福岡市 MICE アンバサダー導入の目的

福岡の学術文化・産業・経済振興を促進するMICEを積極的に誘致する目的で、福岡市が掲げる6つの誘致重点分野(次世代産業/クリエイティブ/スポーツ/食/医療・医学/アジア)において、国際会議や大会、展示会の福岡誘致に影響力を持つキーパーソン10名がこのたび「福岡市MICEアンバサダー」として福岡市長より任命されました。アンバサダーの方々を通じて、福岡開催の可能性のあるMICEの誘致活動を積極的に支援すると共に、産学官民一体で福岡市のMICE誘致促進に対する機運を高めてまいります。

(50音順 敬称略)

各務 茂夫 東京大学 教授
かがみ しげお 産学連携本部 イノベーション推進 部長



一橋大学商学部卒、スイスIMEDE(現IMD)経営学修士(MBA)、米国ケースウェスタンリザーブ大学経営学博士。ポストコンサルティンググループを経て、コーポレートディレクション(CDI)の設立に創業パートナーとして参画、取締役主幹、米国CDI上級副社長兼事務所長を歴任。世界最大のエグゼクティブサーチ会社の一つ、ハイドリック&ストラグル社パートナー(ボード・プラクティス)を経て、2002年東京大学大学院薬学系研究科教員となり、2004年東京大学産学連携本部教授・事業化推進部長に就任。2004年～2013年まで(株)東京大学エッジキャピタル監査役。2013年4月から現職。大学発ベンチャー支援、学生起業家教育、企業との大型共同研究創出に取り組む。2015年日本ベンチャー学会第1回松田修一賞受賞。日本ベンチャー学会副会長・理事(2016年1月～)

張 樹 榮 香港日本文化協会 理事
アルフレッド・チャン



香港日本文化協会および日本香港協会の理事、香港城市大学と雲南大学の客員教授、敦賀市のポート・セールス・アドバイザー等を務める。オリエン特・オーバーシーズ・コンテナ・ラインに入社、本社および海外事務所の配送業務、物流、企画、情報ネットワークの開発、人材育成や冷凍物流などの管理職を歴任。冷凍物流と輸送技術をテーマに多くの講演を行った実績もある。近年では、大学研究者および物流専門家と共同で、より効率的なグローバル物流を推進するためGreen Society Association Limited (NPO) を設立。

都 甲 潔 九州大学大学院システム情報科学研究院 情報エレクトロニクス部門電子デバイス工学 主幹教授
とこう きよし 味覚・嗅覚センサ研究開発センターセンター長



九州大学大学院博士後期課程修了後、助手、助教授を経て、現職。世界で初めて「味を測る」という概念を提唱し、味覚センサーを開発した功績で、文部科学大臣表彰・科学技術賞受賞。2013年紫綬褒章を受章。

都 甲 康 至 九州大学大学院芸術工学研究院 教授
とこう やすし デザインストラテジー部門長 九州大学産学連携センター 副センター長



大日本印刷株式会社入社後、インターネット1996ワールドエクスポジション、ハイビジョンCG、浜松アクティシティ開発、高松シンボルタワー開発、ネット通販ビジネス開発、DNP五反田ビル開発などのプロジェクトを経て、九州大学大学院芸術工学研究院に就任、2010年より現職。社会システムデザイン、プロジェクトマネジメント、地域政策デザイン、地域ブランディングなどをテーマに国際産学官連携活動を推進。

中西 洋一 九州大学大学院医学研究院 教授
なかにし よういち 臨床医学部門呼吸器内科学分野 九州大学 ARO 次世代医療 センター センター長



九州大学医学部卒業後、佐賀医科大学助手、九州大学助手、同講師、同助教授を歴任。2003年九州大学大学院医学研究院教授、現職の九州大学病院臨床研究センター(現ARO次世代医療センター)センター長に就任、2010年より九州大学主幹教授。

アンバサダーの主な役割

●国際・国内会議や大会、展示会の誘致に係る活動 ●PR活動協力/情報提供 ●主催者キーマン・コンタクトパーソン紹介

任期

平成28年より2年間

主な支援内容

※支援内容は会合の規模・目的等に応じて当財団からご提案いたします。

- ① 福岡開催PRツールの製作代行・補助・配付代行・補助
- ② Bid Paper (開催提案書) の作成代行・補助
- ③ 誘致活動に係る経費の一部支援
- ④ ロビー活動等における福岡市・当財団等の同行

(50音順 敬称略)

藤 枝 守 九州大学大学院芸術工学研究院 コミュニケーションデザイン科学部門 (音文化・アートマネジメント) 教授
ふじえだ まもる



カリフォルニア大学サンディエゴ校音楽学部博士課程修了博士号(Ph.D. in Music)取得。《オーケストラの修辞学》で、第5回入野賞。第7回日本現代芸術奨励賞。国立劇場、東京混声合唱団、神奈川芸術文化財団、オーケストラ・アンサンブル金沢、ジャパン・ソサエティなどから委嘱を受ける。アメリカ大使館主催「インターリンク・フェスティバル」音楽ディレクターを務める。

藤 原 洋 一般財団法人 インターネット協会理事長 IoT 推進委員会委員長
ふじはら ひろし



日本アイ・ビー・エム(株)、(株)日立エンジニアリング、(株)アスキーを経て、1996年12月(株)インターネット総合研究所を設立、同社代表取締役所長に就任。2012年4月(株)ブロードバンドタワー代表取締役会長兼社長CEOに就任。慶應義塾大学環境情報学部特別招聘教授、SBI大学院大学副学長を兼務。2011年4月独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学評議会評議員、2013年12月総務省ICT新事業創出推進会議構成員、2014年1月電波政策ビジョン懇談会構成員、2015年6月(財)インターネット協会理事長・IoT推進委員長、2016年1月総務省電波政策2020懇談会構成員に就任、現在に至る。

船 山 龍 二 一般社団法人 日本コンベンション協会 相談役会長
ふなやま りゅうじ



日本交通公社(現JTB)入社後、国内旅行部長、取締役九州営業本部長、常務人事部長などをを経て1996年に同社社長に就任。2002年から同社取締役会長を経て、現在は相談役。国土交通省の交通政策審議会委員、日本ツーリズム産業団体連合会会長など多数の公職も務めた。2015年4月には、コンベンション業界の事業者が集まりMICE産業の発展と活性化、国際競争力強化の推進を目的とする日本コンベンション協会の初代相談役会長に就任、現在に至る。

Petros Sofronis 九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 (I²CNER) 所長
ペトロス ソフロンニス 米国イリノイ大学機械理工学部教授



米国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校理論応用力学博士課程修了後、助手、助教授、教授を経て、2010年より現職。金属材料の劣化、水素脆化、材料破壊、複合材料及び有限要素解析が専門分野。

若 山 正 人 九州大学 理事・副学長
わかやま まさと マス・フォア・インダストリ研究所 教授



1997年に九州大学教授、九州大学大学院数理学研究院長・数理学府長、九州大学産業技術数理研究センター長、九州大学高等教育開発推進センター長を歴任し、2010年九州大学副学長に就任。2011年九州大学マス・フォア・インダストリ研究所(創立)所長、同時に基幹教育院院長代理に就任。2014年より現職。